

平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	(独)交通安全環境研究所施設整備費 (一般勘定)		担当部局	自動車局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度		担当課室	技術政策課		課長 和逯 健二		
会計区分	一般会計		施策名	11(44)技術研究開発を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法第46条 (独立行政法人交通安全環境研究所法)		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	交通安全環境研究所に運輸技術のうち陸上運送等に関する安全の確保、環境の保全及び燃料資源の有効な利用の確保等に資する調査、研究及び開発等を行わせるための施設等の整備に必要な経費。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	運輸技術のうち陸上運送等に関する安全の確保、環境の保全及び燃料資源の有効な利用の確保等に資する調査、研究及び開発等を行うための施設について、老朽化に対する改修や新しい施設・設備の整備を行う。							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	130	100	92	46	110	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	32	53	87	75	-	
	計	162	153	179	121	110		
	執行額	108	66	104	-	-		
執行率(%)	66.3%	43.4%	57.9%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	整備実施件数			件	3	2	1	
			達成度	%	66.9%	43.3%	57.9%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	施設整備費執行額			百万円	108	66	104	
				(162)	(153)	(179)	(121)	
単位当たりコスト	施設整備費執行額 104百万円		算出根拠	施設整備費執行額				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	独立行政法人交通安全環境研究所施設整備費補助	46	110	ハイブリッド・電子制御車両総合試験設備の整備				
	計	46	110					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・国が実施する関連行政施策の立案や技術基準の策定等に反映するための研究などに必要な施設等の整備を行うものであり、優先度が高く、国が実施すべき事業である。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・広く国民が裨益する事業であり、国費を支出する必要がある。 ・資金は、附帯事務費を除いて全額施工業者に支出されており、合理的である。 ・費目・使途は施設整備に必要なものに限定されている。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・独法の施設整備を支援するものであり、施設整備費以外の手段はない。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>独立行政法人交通安全環境研究所の施設整備を目的としているため、国からの支出先は同研究所に限定されており、同研究所からの支出先は、官庁官繕部受託事務取扱要領第2条3号の官繕部職員の有する特殊の専門技術を必要とする工事に該当することから受託契約をした関東地方整備局のほか民間業者3社である。当該事業に係る補助金は、「独立行政法人通則法」、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」及び「独立行政法人交通安全環境研究所施設整備費補助金交付要綱」等により交付されており、同法令等に基づき、事業計画、事業遂行状況等の報告を受けることにより、使途及び実施状況を十分に把握できる体制を整えており、適正に予算が執行されていることを確認している。</p> <p>本事業による交通システム安全性研究棟の新設工事は、埋設物調査等の不測の事態により平成23年度に繰越をしている状況である。</p> <p>なお、平成23年度については、交通システム安全性研究棟の新設工場の繰越分の工事及びハイブリッド・電子制御車両総合試験設備の新設整備を行うこととしている。これらの施設等は同研究所がその目的を果たす上で必要不可欠なものであり、中期計画に基づき計画的に施行する必要がある。国からの支出先は同研究所に限定され、現在、同研究所において調達手続きを進めているところである。本事業も上記同様に補助金に関する法令等に基づき、事業計画、事業遂行状況等の報告を受けることにより、使途及び実施状況を十分に把握できる。事業の成果目標は施設等の整備であり明確である。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 事業の実施に際しては、競争入札の活用を徹底するとともに、事業の必要性・緊急性を精査し、真に必要な整備に限り実施することとした。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		事業の実施に際しては、競争入札の活用を徹底するとともに、事業の必要性・緊急性を精査し、真に必要な整備に限り実施し、引き続き適正に業務を行うこと。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
事業の必要性・緊急性を精査し、真に必要な整備に限り実施するため増額となっている。			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

国土交通省
104百万円

交通安全環境研究所の施設整備
の総合調整を行う。



A.(独)交通安全環境研究所
104百万円

既存施設・設備の老朽化に対す
る改修や新しい施設・設備の整
備の実施。



B.民間事業者(3社)
97百万円

交通システム安全性研究棟の
新設及びシミュレータの整備。



C.関東地方整備局
7百万円

交通システム安全性研究棟の新設の
整備計画を実施。

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(独)交通安全環境研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	施設改修工事等	97			
外部委託	施設改修事業委託	7			
計		104	計		0
B.三菱プレジジョン(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	機器の開発	47			
計		47	計		0
C.関東地方整備局			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
一般管理費	事務費等	7			
計		7	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)交通安全環境研究所	・自動車の安全 / 環境基準案の策定、国際基準調和活動 ・鉄道等の都市内公共交通機関のシステム評価と実用化推進 ・国の目標達成のための先進的技術開発(インフラ整備や法制・基準策定などを必要とする先進的技術開発)における産学官連携等の中核的役割 等国の目標に直結した業務を行う。	97		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱プレジジョン(株)	列車運行システム安全性評価シミュレータの開発	47		
2	(株)富士工	交通システム安全性研究棟の建築工事	40		
3	(株)あい設計	交通システム安全性研究棟の設計	9		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	関東地方整備局	事務費	7	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					